

案内

東日本大震災の被災地を覚えての祈禱会

被災された方々とそのご家族、復興のために尽力されている方々を覚え、共にお祈りください。

6月11日(火)

青山キャンパス 本部礼拝堂 12時35分～13時

相模原キャンパス ウェスレー・チャペル2階 小礼拝堂 12時35分～13時

清里サマー・カレッジのお知らせ

日時 8月5日(月)～7日(水) 2泊3日

場所 清泉寮(山梨県北杜市高根町清里)

特別講師 山北 宣久(学院院長)

参加費 13,000円(往復貸切バス代込)

このプログラムは、都会を離れた静かな自然の中で、学生と教員が生活を共にしながら、一つの主題のもとに講演を聞き、聖書・讃美歌に親しみ、討論することを通して、自らの生き方を深く考える青山学院ならではの貴重なプログラムです。

詳細については後程お知らせします。

洗礼を受けられた方へ

本学在学中に教会で洗礼を受けられた方は、各キャンパス宗教センターにお申し出下さい。記念に新約聖書スタディ版を差し上げます。

第1回宗教センター主催 オーストラリア・クリスチャンファミリー・ホームステイ・プログラム 説明会 青山キャンパス

日時 6月18日(火) 12時40分～13時10分

場所 15501教室

相模原キャンパス

日時 6月17日(月) 12時40分～13時10分

場所 B308教室

教会暦と典礼色

キリスト教には教会暦と呼ばれる固有の暦があります。古くから人々は、時間もまた神が与えてくださったものであることを覚え、教会暦にそった祝祭日を祝うことで、イエス・キリストの生涯を覚えつつライフ・スタイルを整えてきました。この教会暦には象徴となる典礼色も定められています。呼称や期間区分は教会によって多少異なりますが、本学では合同メソジスト教会の教会暦にもとづいて、「待降節」(紫=悔い改め)、「降誕節」(白=栄光・喜び)、「公現節」(緑=恵み・希望・成長)、「受難節」(紫=悔い改め)、「受難日」(赤=血・贖罪)、「陰府下り」(黒)、「復活節」(白=栄光・喜び)、「聖霊降臨週」(赤=火・力)、「神の国節」(緑=恵み・希望・成長)、という周期を用い、聖壇のオルタークロスと礼拝週報の印刷色もこれに合わせています。

青山学院大学礼拝週報

2013. 6. 3.

No. 9

神の国節第2週

聖書の人々 [9]

「モーセ」 Moses

モーセは旧約聖書の中で最も重要な人物の一人です。古代イスラエルにおける最大の救いの出来事は「出エジプト」ですが、モーセはその指導者として偉大な働きをしました。

出エジプト記によると、イスラエルの民はエジプトで奴隷のように抑圧されていましたが、モーセは神の助けによってその民を解放し、40年間の荒野の生活を経て、「約束の地」へと導きました。その途上で起きたのが「葦の海の奇跡」です。海が分かれて、エジプト軍の追撃から逃れることができたことと記されています(出エジプト記14章)。

また、モーセはシナイ山において「十戒」を神から授かりました(20:1-17)。その影響力は絶大で、後のユダヤ教のみならず、キリスト教を通じて、倫理的規範のモデルとして現代社会においても重要な位置を与えられています。



今年度主題聖句

人にしてもらいたいと思うことは何でも、

あなたがたも人にしなさい。

(マタイによる福音書 第7章12節)